

# 米倉教公の月間為替市場見通し

## 2月号

### 『レンジ相場上限へトライ』

ドル/円予想レンジ 118.60 - 123.50 円

ドル/円の2月勝敗表

2月の相場	始値	終値	値幅	変動率	陽線・陰線
1995年	99.53	96.66	-2.87	-2.88%	陰線
1996年	107.01	105.2	-1.81	-1.69%	陰線
1997年	121.34	120.25	-1.09	-0.90%	陰線
1998年	127.00	125.98	-1.02	-0.80%	陰線
1999年	115.95	119.34	3.39	2.92%	陽線
2000年	107.32	110.16	2.84	2.65%	陽線
2001年	114.38	116.45	2.07	1.81%	陽線
2002年	134.55	133.51	-1.04	-0.77%	陰線
2003年	119.75	118.11	-1.64	-1.37%	陰線
2004年	105.6	109.08	3.48	3.30%	陽線
2005年	103.67	104.6	0.93	0.90%	陽線
2006年	117.18	115.77	-1.41	-1.20%	陰線
2007年	120.66	118.51	-2.15	-1.78%	陰線
2008年	106.42	103.72	-2.7	-2.54%	陰線
2009年	89.99	97.66	7.67	8.52%	陽線
2010年	89.86	88.94	-0.92	-1.02%	陰線
2011年	82.03	81.78	-0.25	-0.30%	陰線
2012年	76.26	81.14	4.88	6.40%	陽線
2013年	91.70	92.53	0.83	0.91%	陽線
2014年	101.99	101.77	-0.22	-0.22%	陰線
2015年	116.93	119.58	2.65	2.27%	陽線
平均			0.55	0.68%	9勝12敗

#### ★2月は円高傾向強いが円安幅が大きい

1995年以降の過去21年間のドル/円では、9勝12敗と陰線引け（円高）となることが多い。一方、値幅での平均値は55銭の円安となっている。これは、一旦円安になると大きく円安になることが多いからである。1月29日に日銀が追加緩和となる『マイナス金利導入』により、円安になる環境は整っている。過去9回の円安時では平均3円19銭となっている。2月1日の始値に足した価格が終値の目標値となる。また、過去12回の円高時では平均1円43銭の円高となっている。

2月・8月は米国債の利払いや償還があることから、季節的要因とすれば、円高になりやすい月となっている。本邦機関投資家や年金関連が受け取ったドルを円に転換する中旬前後が円高になりやすい。

※この勝敗表は単純に終値から始値を引いた数値となっている。また陽線を勝ち、陰線が負けとした。



#### ★ドル/円週足では戻り基調

週足による中期的なトレンドでは上昇基調となっている。中期的にはドルの下値116円前後、上値を123.60円前後のレンジ相場となっている。14年12月19日安値115.55円、15年1月16日安値115.83円、15年8月28日安値116.14円、16年1月22日安値115.96円といずれも116円前後で反転している。現政権下では、116円前後が安値の下限とみていることが分かる。黒田レンジと言われている125円前後が上値の目途とみられているが、実際には123.60円前後で頭打ちとなることが多い。雲の上限が122円半ばにあり上値抵抗ラインとなりやすい。ストキャスティクススロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%Kが一時14.6%まで低下したものの、上昇転換している。日銀の追加緩和で加速したが、実はその前週から反転していたことが分かる。

## ★2月の注目イベント

- 2月1日：中国12月製造業・非製造業PMI、中国12月財新メディア製造業PMI  
米1月ISM製造業景況指数、
- 2月2日：RBA理事会
- 2月3日：NZ第4四半期雇用統計、中国12財新メディア非製造業PMI  
黒田日銀総裁講演、米1月ADP全国雇用報告、米1月ISM非製造業景況指数
- 2月4日：英MPC&四半期インフレ報告
- 2月5日：米1月雇用統計、米12月貿易収支、アストロ：為替要変化日（8日まで）
- 2月8日：中国春節休暇（13日まで）、日銀金融政策決定会合・1月28-29日分「主な意見」公表  
日本12月国際収支、アストロ：日経平均・金重要変化日
- 2月10日：イエレンFRB議長・議会証言（米下院金融サービス委員会）
- 2月11日：東京市場休場（建国記念日）
- 2月12日：日経平均オプションSQ、独・ユーロ圏第4四半期GDP
- 2月15日：日本第4四半期GDP・一次速報、中国1月貿易収支
- 2月17日：英1月雇用統計
- 2月18日：豪12月雇用統計、中国1月消費者・生産者物価
- 2月19日：米1月消費者物価指数
- 2月23日：トルコ中銀政策金利発表、アストロ：満月
- 2月25日：英第4四半期GDP・改定値
- 2月26日：米第4四半期GDP・改定値

## ★まとめ

今月は米 FOMC や日銀政策決定会合などの開催は予定されていない。そのため、日米の金融政策の思惑に関する動きは小休止となる。また、8日から13日まで中国が春節休暇入りすることで、中国動向に振り回されることも後退する。ただ、米国の FOMC での3月利上げ思惑が残っていることから、1月米雇用統計や1月ISM製造業景況指数など米景気の動向には注意が必要である。経済指標などで良好な米国経済が確認されると、3月利上げの思惑が高まり円安が進行する可能性がある。一方で米国においてドル高や中国発の世界景気減速の影響が米国にも波及するような結果となると、米長期金利の低下を招きドル売りが再燃するリスクも残る。また、不安定な原油価格が再び下落傾向となると、リスク回避の株安・円高となる可能性もあり、当分の間は原油価格の動向には警戒が必要である。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。